



変革の時代

江戸から考える

法政大学総長 田中優子

後援会鹿児島県支部30周年
特別講演会

世界は「第四次産業革命」を迎えようとしています。それは日本にとっても大きな変化の時代です。

日本の最初のグローバル化は江戸時代の直前に起こり、江戸時代はその対応の時代でした。それは今とこれからに、何を示唆するのか。

鹿児島県やその地域を軸に過去・現在・未来を一つの大きな時間の流れとしてとらえ、鹿児島県の文化的特色や歴史を振り返りながら、それが現在とどのようなつながっているのかを考えるきっかけとしていただければと思います。

また、これからの地域の若者にとって何が大切なのかもお伝えしていきたいと思っております。皆さまの参加をお待ちしております。



2018年8月25日(土) 16:40 ~ 17:40
会場 城山ホテル鹿児島 (城山観光ホテル) パールホール天平 参加費: 無料

■主催: 法政大学、法政大学後援会鹿児島県支部、法政大学校友会・鹿児島県校友会
■お問い合わせ先: 法政大学後援会鹿児島県支部実行委員会 裁原 hoseikagoshima30@gmail.com
法政大学校友会・鹿児島県校友会
※校友会の方は、鹿児島県校友会からご案内の連絡先へお申し込みください

講師 法政大学総長 田中優子
2012年度社会学部部長、2014年4月より法政大学総長に就任(東京6代大学の初代女性総長)。専攻は江戸時代の文学・生活文化。アジア比較文化『江戸の想像力18世紀のメディアと表徴』(『くま文庫』)で芸術選奨新人賞を、「江戸百夢 近世図像学の楽しみ」(『くま文庫』)で芸術選奨文部科学大臣賞、サントリー学芸賞受賞。近著に「自由という広場」(法政大学出版局)など。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「東京2020有識者懇談会」委員。